

秋期のクマに注意してください

令和7(2025)年度の堅果類の結実は概ね良好でした。令和7(2025)年度のクマの出没件数は令和6(2024)年度の8割程度、クマの有害捕獲頭数も令和6(2024)年度の8割程度で推移します。クマによる人身事故は、令和6(2024)年度は2件発生し令和7(2025)年度は現時点で3件発生しております。

クマとの不慮の遭遇を避けるためには、鈴やラジオ等の音により人の存在をクマに知らせるなどの対策が引き続き必要ですので、以下の点に留意し、適切に対処してください。

なお、生ゴミの匂いはクマを誘引し、不慮の事故につながるおそれがあります。キャンプ場などの観光地では、施設の管理者の指示に従い、適切に処理してください。

＜山林内などでクマに出会わないために＞

- ・音の出るもの（鈴やラジオ）を携帯し、人の存在をクマに知らせる。
- ・クマの新しい糞や足跡などを見つけたら引き返す。
- ・雨や風のある日や沢沿いでは人が出す音がクマに聞こえにくいので、周囲に気を配る。
- ・弁当の残りや容器・ペットボトル・缶などのゴミは必ず持ち帰る。

＜出会ってしまったら＞

- ・クマは危険であるとの認識を持つ。
- ・静かに、走らず、ゆっくり後退してクマから離れ、絶対に近づかない。
- ・近づいたり、その場で観察し続けたり、撮影したりしない。



お問合せ先

栃木県環境森林部自然環境課

野生生物・鳥獣対策班

電話：028-623-3261